

3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

事例19. (一社)アツいまち(1)(岐阜県多治見市) 「あつつうドリル」 「あつつう検定」

- こどもをターゲットに考えたきっかけは、これから多治見で暮らしていくこどもたちにとって分かりやすく、日常的に暑さ対策を考えるツールを届けたいと考えたこと。
- **児童教育**を軸としたアプローチとして「めざせ！アツまちマスター」(2023年)を皮切りに、小学生向けの暑さ対策学習教材「あつつうドリル」 「あつつう検定」を実施、市内すべての小学校の児童約5,000人に配布され大きな反響(2024年)。直近では「あつつうドリル2025」を制作・配布。
- 今年度はさらに進化させて、ドリルに加え**ワークショップ**を開催。ワークショップでは**実験・勉強・運動**の3つの視点から暑さ対策を楽しく学べるものとなっている。



▲「めざせ！アツまちマスター」(2023年)
クエスト形式の暑さ対策に取組み、クリア数に応じて、様々な効果を持つ魔法の杖を手に入れて「アツまちマスター」になる。



▲「あつつうドリル」 と 「あつつう検定」(2024年)



▲「あつつうドリル2025」(2025年)

(一社)アツいまち ホームページ <https://www.atsui-machi.com/>

■工夫した点

昨年度から始めた「あつつうドリル」ですが、今年は昨年度からの反省も踏まえ、①ドリル1本に絞ってより多くの子どもたちに取り組んでもらえるように、②1-3年生向け、4-6年生向けの2種類を制作し、学年に沿った難易度でチャレンジしてもらえるように、③昨年に引き続き**地域の企業とも連携**し、今年度は地域全体を巻き込んだ**ワークショップ**を開催して、暑さ対策に取り組むこどもたちに直接会えるように、とバージョンアップしています。

※令和7年度のヒアリングによる。

3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

事例19. (一社)アツいまち(2)(岐阜県多治見市) ワークショップ

◎ 作って！試して！ひんやり体験

尿素と水を使って科学の力で冷たくなるグッズをつくり、自分でつくったひんやりグッズはそのまま持ち帰ることができる。



◎ 地球温暖化とエネルギーから考える 暑さ対策入門

中部電力パワーグリッドさんにお越しいただいて、エアコンをどう上手に使うのか「ムダ使い」と「かしこく使う」というキーワードで地球温暖化とエネルギーについて学ぶ。



◎ 暑さに負けない体づくり教室

スポーツクラブVOYAGERS((株)Blue berry) 監督の元Jリーガー進藤さんに講師としてお越しいただき、体を動かす教室を開催。

